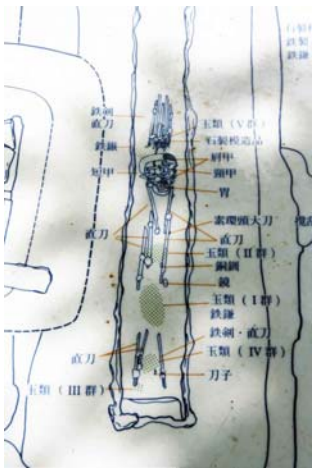
ASA フレンドリーコム Vol.116(2013 Aug.)
ASA 用賀
ASA 二子玉川で
毎月 1 回発行

おもいはせの路を歩くパート2

今月は、6 月号で特集した「おもいはせの路」の後半です。後半もたっぷりと崖線の醍醐味を味わえます（キツイということです）。

野毛大塚古墳

玉川野毛町公園の一角にある野毛大塚古墳は、墳丘の全長 82m、高さ 11m。帆立貝式としては全国最大級の前方後円墳です。勾玉やガラス玉などが出土し、現在は国立博物館に所蔵。頂上には、何が、どこに、どのように埋まっていたかが分かるように案内板が埋め込まれていて参考になります。



六所神社

大きな鳥居が目印の六所神社は、旧野毛村に散在していた 6 つの寺社を合祀して、ひとつにまとめた神社。そのため祭神は六社それぞれの神様です。広く大きな神社です。

善養寺

丸子川にかかる赤い橋（大日橋）を渡って石段を上ると、一対の海駝の坐像が出迎える善養寺の本堂は奈良の唐招提寺金堂を模したもの。本堂の前には、善養寺のカヤと呼ばれるカヤの大木が生育している。このカヤには豪族の娘が助けた沢蟹親子の恩返し伝説があり、そばには沢蟹や蛙、そして河童の石像が設置されています。その他にも境内にはガネーシャ神、石羊、布袋像などがあり、見るだけでも楽しいですよ。

ウラへ

◎今月から「てくたくぶっく」のポイントを用賀と玉川を交互にご紹介していきます。お楽しみに！

＊てくたくアサッチ#1「玉電用賀駅跡」＊

明治 40 年（1907 年）４月、用賀の街に玉川電車（玉電）が通りました。ガタゴトと路面を走る電車で多摩川の砂利も運んだのでジャリデンともよばれました。石油ランプを使っていた沿線の家々にも電灯がつくようになりました。用賀駅には折り返し所もでき、駅前にあった用賀梅林には赤坂や青山方面から子供たちが遠足にきたそうです。駅の待合室は子供たちの溜まり場となり、近所の子供たちもよく遊んだそうです。数々の出会いや別れの想い出を綴りながら、昭和 44 年（1969 年）5 月、玉川電車の廃止に伴い、玉電用賀駅もその姿を消しました。

場所は現在工事中のパチンコ屋さんのところです

上野毛自然公園

上野毛自然公園までの道は、住宅街を歩くので途中で合っているのか不安になりますが、第3京浜のトンネルにぶつかれば正解です。トンネルには「ひまわり大作戦」という小学生の壁画が疲れを忘れさせてくれます。住宅街の中には歴史を感じさせる教会があったりして色々な発見があります。上野毛自然公園は子供の遊び場にちょうどいい感じ。春には桜が見事だそうです。

五島美術館

平安様式に造られた五島美術館は、多くの古美術が展示され、手入れの行き届いた日本庭園とともに来館者が時を忘れてくつろげる癒しスポットです。

富士見橋

五島美術館脇の切通しを走る東急大井町線上にかかる富士見橋。ここからの景色は絶景で、美しい地域づくりの推進を目的とした国土交通省の「関東の富士見百景」に選定されています。この日はあいにく富士山を見ることはできませんでしたが、冬の空気が澄んでいる時にはきっと素晴らしい富士山を拝むことができると思います。

まむし坂

セントメリーズスマイル通り

法徳寺

瀬田貝塚

法徳寺本堂右に筆塚があります。「明治十四年五月半嶺聞書」と記されています。筆塚は、幕末から明治初期にかけて法徳寺に寺子屋を開き、農村子女の教育に献身した大塚貞三郎を讃えたものです。寺子屋は、芝光塾といい、嘉永6年（1853 年）に開かれ、明治 7 年（1874 年）に玉川小学校開校後もしばらく続いていたそうです。

行善寺

行善寺は昔、玉川八景の眺望場所として多くの人々が訪れる場所でした。二子の鮎漁とならんで瀬田に行善寺ありと江戸市中に広く知られていたようです。将軍もしばしば立ち寄り休息したと言われています。境内にある猫塚は、二子玉川が料亭で賑わっていた頃、芸者さんが使った三味線に使われた猫の霊を祀ったもので、当時は料亭街にありました。

行火坂

ゴールの二子玉川駅へは行火坂を下っていきます。勾配が急なため登るだけで体が熱くなるので行火坂と言われています。

※悪ふざけも度が過ぎると犯罪になります。